

# 目標と実績、環境負荷の全体像

荒川化学グループでは環境負荷低減活動に向けた目標を掲げ、継続的かつ着実な活動を実施しています。

## 環境保全活動の結果

荒川化学グループでは、地球にやさしい企業を目指して単年度目標と中期目標(2007～2012年度)を立てて、環境負荷削減活動をおこなってきました。

中期目標最終年度の2012年度は2007年度対比で、環境負荷物質(SOx、NOx、廃棄物、化学物質)の絶対量は減少しました。エネルギー原単位は、生産量が大幅に減少し悪化しました。

## 環境保全活動の目標

次期中期目標(2013～2015年度)は、「長期方針(2020年度)具体化のための環境マネジメントシステムの充実」を設定し、具体的目標は下記のように決めてスタートしました。

評価基準：◎目標以上達成 ○ほぼ目標通り達成 ×目標未達 ××目標大幅未達

重点テーマ	2012年度荒川化学グループの環境保全活動				2013年度目標	2015年度目標
	目標	実績	評価	関連頁		
環境マネジメントシステムの確立と維持	全事業所の環境システムマネジメントシステムの構築	ISO14001認証の4工場とペルノックス、エコアクション21認証高圧化学は維持審査合格。その他は社内版EMS稼働中。	○	P10	環境マネジメントシステム全社体制の整備(運用準備)	荒川化学はISO14001全社拡大統合
環境会計の実施	環境会計の継続 環境経営へのアドバイス	環境会計を継続し、環境経営の調査等で活用	○	P12	環境会計の継続	—
省エネルギーの推進	エネルギー原単位を2007年度比5%削減	エネルギー原単位は2007年度比20.3%増加	××	P14	エネルギー原単位を2012年度比1%削減	エネルギー原単位を2012年度比3%削減
CO <sub>2</sub> 排出量の削減	CO <sub>2</sub> 排出量を2007年度比5%削減	CO <sub>2</sub> 排出量は2007年度比6.6%増加	×	P14	CO <sub>2</sub> 排出量を2012年度比1%削減	CO <sub>2</sub> 排出量を2012年度比3%削減
産業廃棄物の削減	最終埋立率1%以下	最終埋立率 2.2%	×	P16	最終埋立率1%以下	ゼロエミッション達成(最終埋立率0.1%以下)
化学物質の適正管理	PRTR対象物質の排出量を2007年度比5%削減	PRTR対象物質の排出量は2007年度比 5.8%削減	◎	P22	PRTR対象物質の排出量を2012年度比1%削減	PRTR対象物質の排出量を2012年度比3%削減
生物多様性の確保のための取組推進 /再生可能資源・エネルギーの利用促進	—	—	—	—	生物多様性の確保のための取組推進/再生可能資源・エネルギーの利用促進(啓発、事業所緑地の保全、原料ロジン安定供給の取組)	生物多様性の確保のための取組推進/再生可能資源・エネルギーの利用促進

## 環境負荷の状況

